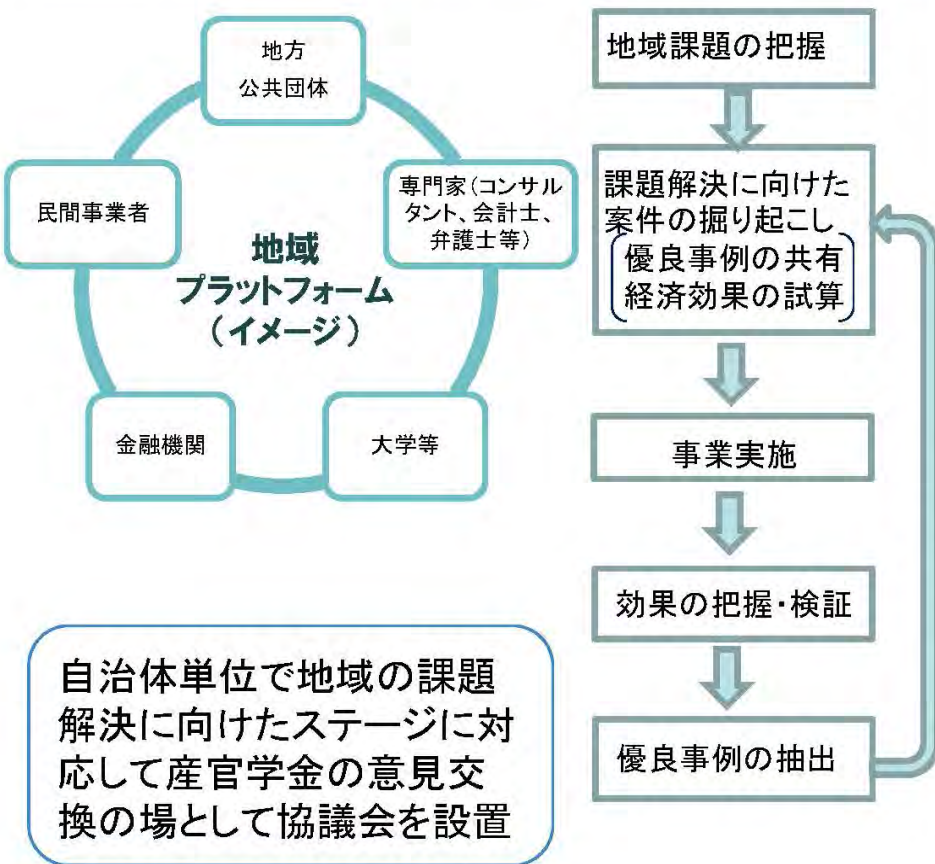


自治体単位の地域プラットフォームの形成・支援

自治体単位の地域プラットフォームは、地方ブロックプラットフォームを通じるなど各自治体の要望に基づき設置。既に帯広市、川崎市、志太3市（藤枝市、焼津市、島田市）、名古屋市、福山市の5地域で設置済み。（H27年度）

地域プラットフォームを活用したノウハウの共有・横展開の促進



<PPP/PFIの推進事例>

<p>大阪府営枚方田ノ口住宅建替え事業 (大阪府)</p>	<p>宮崎駅西口拠点施設整備 (宮崎県・宮崎市)</p> <p>■ 外観</p> <p>■ 施設概要</p>	<p>神戸市 垂水処理場 (兵庫県・神戸市)</p> <p>太陽光発電 2,000kW</p> <p>バイオガス発電 350kW</p>
<p>類型</p> <p>○公的不動産の有効活用</p>	<p>○収益施設の併設 ○公的不動産の有効活用</p>	<p>○収益施設の併設</p>
<p>事業概要</p> <p>PFI手法を活用し、府営住宅の建替え（建物の高層化）によって創出された余剰地に、地域ニーズに沿って戸建住宅やサービス付き高齢者向け住宅を一体的に整備。</p> <p>（創出余剰地の売却の対価として約3.2億円が大阪府の収入）</p>	<p>宮崎県及び宮崎市が所有する駅前未利用地を活用し、交通センターとともに新しい拠点施設を整備。特定目的会社を設立し、事業用地定期借地権設定契約を締結。</p> <p>（県・市に約4,000万円/年の賃料収入）</p>	<p>メガソーラーとバイオガスのダブル発電（H26.3運転開始）</p> <ul style="list-style-type: none"> 神戸市は、民間企業に下水処理場の敷地、消化ガスを提供。 民間企業は発電事業を行い、売電収入の一部を市に支払い。 <p>（年間収入約1.7億円のうち約2割が市の収入）</p>

公共施設等総合管理計画に基づく先進事例の横展開（H28.3.28第一弾公表）

<総務省HP>

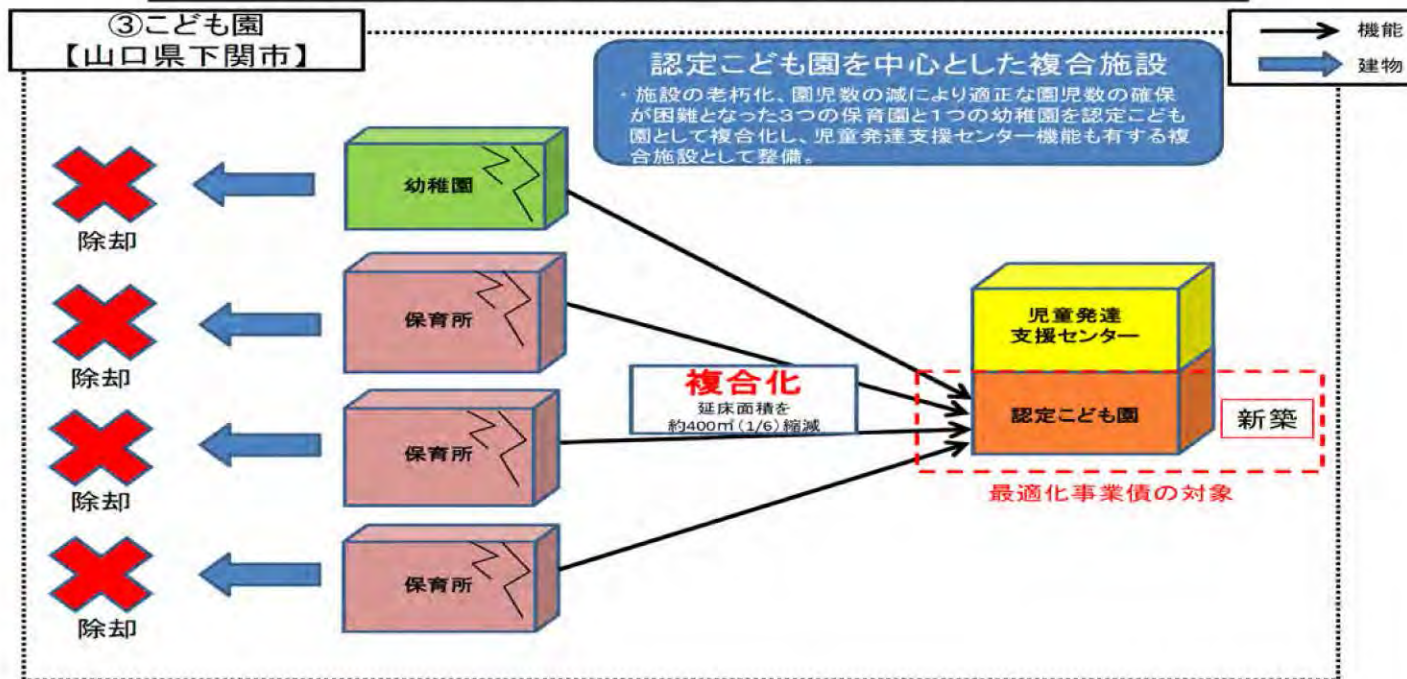


平成28年4月8日
第11回社会資本整備等WG

- 公共施設等の総合的かつ計画的な管理による老朽化対策等の推進(平成26年1月24日)
- 公共施設等の総合的かつ計画的な管理の推進について(平成26年4月22日)
- 公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針の策定について(平成26年4月22日)
- 「公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針」の概要(平成26年4月22日)
- 国と地方公共団体が連携した地域の公有財産の最適利用について(平成26年8月29日)
- 公共施設等総合管理計画に係るQ&A(平成27年6月30日更新)
- 公共施設最適化事業債を活用した先進事例について**

(※ 複数事例中から抜粋)

～公共施設最適化事業債を活用した先進事例について～



コンパクト・プラス・ネットワークの形成 ~立地適正化計画の実例~

熊本市立地適正化計画(平成28年4月1日公表)

○公共交通利用圏への居住や都市機能の誘導

- ・利便性の高い公共交通沿線や市内各所の拠点周辺に居住や都市機能を誘導することにより、生活の利便性向上と同時に、公共交通の利用者を確保



○**中心市街地**
桜町・花畑地区に、バスターミナル、商業施設、ホール等の施設と広場等のオープンスペースを一体的に整備

○バス運行の効率化の促進等

- ・バス路線の幹線と支線の位置付けを明確にし、幹線では重複路線を再編して効率化
- ・バス専用(優先)レーン、公共車両優先システムの導入拡大
- ・乗換拠点の整備を行い乗換抵抗を軽減



▲バス路線再編のイメージ

▲バス専用レーン

期待される効果

- 公共交通沿線への居住誘導やバス運行の効率化
⇒バス1台あたりの**乗車率を高め、生産性を向上**
⇒運行費用削減により、**経営の安定・改善**
- 公共交通沿線への居住誘導や中心市街地への移動利便性の向上により、まちの賑わいを創出し**中心市街地の消費額を増加**

花巻市立地適正化計画(平成28年6月1日公表)

○拠点の絞り込み

- ・ポテンシャルの高いエリアに、居住や都市機能の誘導区域を絞り込み



○ターゲットを定めた誘導施設の設置

- ・高齢者等:病院、福祉施設等
- ・若者等:大学、子育て施設等

<具体のプロジェクト>



- 「総合病院」を複合施設として移転新設
- ・完成予定:平成30年度
- ・福祉機能等を複合
介護付き老人ホーム
居宅介護支援事業所
訪問看護
- まちなかに、サービス付き高齢者住宅も立地

○「家守※構想」と「花巻家守舎」

- ・市と民間双方でのリノベーションまちづくりによる不動産流動化の促進

※「家守」:テナント・地域企業・住民等との交流や連携をプロデュースしながら、地域経済の活性化等を目指すリノベーションの民間事業(花巻市資料をもとに作成)

期待される効果

- 居住や都市機能の集約エリアへの施設の立地により、利用者の利便性や訪問事業等の移動効率を高め、**生産性を向上**
- また、「歩けるまち」となることで、**高齢者の医療費を削減**
- 病院と介護付き老人ホームの複合施設とし、相互の連携でサービス提供の効率性を高め、**生産性を向上**